



確かな学力の向上をめざして【7月】

ウェブサイト「とっとり『学びの部屋』」の活用について ～夏休み期間を利用して、学びを深めてみませんか？～

アクセスは
こちらから！



<https://sites.google.com/g.torikyo.ed.jp/manabiroom/>

鳥取県教育委員会の情報共有ウェブサイト「とっとり『学びの部屋』」では、これまでに県教育委員会が作成し、公開・配信してきた授業改善についての資料や研修動画、各種研修会及び説明会等を録画した動画、鳥取県教育課程研究集会で配信した説明動画、エキスパート教員授業実践動画等をまとめて掲載しています。校内研修や教科会、分掌部会での活用はもちろん、普段はなかなか時間が取れない自己研修や、2学期に向けての授業準備にもぜひ活用をお願いします。

【資料編】 NEW!

- ・鳥取県教育の重点
- ・鳥取県学校教育のめざすもの
- ・鳥取県教育振興基本計画（第4期）
- ・全国学調授業アイデア例（文部科学省）
- ・小学校高学年教科担任制に関する事例集（文部科学省）



どんなコンテンツがあるか
どしどし紹介
していくよ！



トップページ

とっとり教育
ポータルサイト
もここから！

【動画編】 ☆☆充実の動画コンテンツです！☆☆

- ・鳥取県教育課程研究集会説明動画（各教科・領域）
☞校内研究会に向けての準備や教科会などでの視聴も！
- ・エキスパート教員授業動画
☞素晴らしい実践を見るのは何よりの学びになります！
- ・教育センター研修動画（基本・職務・専門研修）
☞センター研修の講師の講義動画が見られます！オススメ！
- ・とっとりリーディングDXスクール推進事業に係るワークショップ及び講演会（令和6年1月17日）
☞武藤久慶氏の講演はすべての教員に見てほしい動画です！
- ・全国学調を活用した授業づくり研修会動画
☞国語、算数・数学、英語の授業づくりに役立つ情報です！
- ・とっとり学調マネジメント研修会（R3,R4）
- ・NHK鳥取放送局作成・小学校社会科動画「考える鳥取」
- ・ふるさとキャリア教育CMコンテスト入賞作品
- ・ALTとともにつくる英語の授業（小・中学校）NEW! など

【教育DX編】

- ・とっとりICT活用ハンドブック（増強版）
- ・情報活用能力を意識した年間指導計画
- ・GIGAチャン動画
- ・放課後ワンポイントレッスン動画
☞1人1台端末を使って授業づくりをしたい人必見！

【特別支援教育編】

- 特別支援教育
「まなびの広場」
☞各種手引きや研修動画など特別支援教育の情報が満載！

他にもたくさんの情報があります！この夏、学びの部屋の扉を開けにいきましょう！

関係者間の『対話』を基にして子どもたちの学びをつなぐ幼保小接続

昨年度から、園との交流活動、連絡協議会、連絡会等を再開している小学校も多くなっていると思います。子どもたちの育ち（姿）を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）に照らしながら資質・能力を繋いでいくためには、携わる者同士で『対話』をすることが重要です。

文部科学省は、すべての子どもに学びや生活の基盤を保障するため、5歳（年長児）～小学1年の2年を「架け橋期」と位置づけました。そして、架け橋期にふさわしいカリキュラムを作成・評価することで、教育の充実・改善を目指しています。

子どもたちの資質・能力をつなぎ、学びの連続性を図るための具体的な取組を、三朝小学校区（幼保小接続推進リーダー育成事業実施校）で行われている取組で紹介したいと思います。

授業参観後の連絡会 ～三朝町実務者会議～

園の先生は1年生の授業を参観しながら、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に照らして、どんな育ち（姿）が見られたかをメモしながら参観しました。

子どもたちの話し合う姿、字が書けるようになった姿を園の先生方に見てもらえるように工夫して授業をしようかな。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に照らして子どもたちの育ち（姿）をメモしておこう。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」がカギになりそうだね！

園の先生方

～三朝小学校1年生活科の授業の様子～

授業公開後の実務者会議（連絡会）で授業参観のメモをもとに、子どもたちの学びの中の育ち（資質・能力のつながり）について『対話』をしました。

吉岡幼保小接続アドバイザー

授業で見られた子どもの姿を出し合ってみましょう。

ワークシートにひらがなを書いたり、絵を描いたりして、一生懸命がんばって学習していたな。

（数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚）

友達の発表を聞いて、園での経験や自分の経験と結び付けて考えていたな。

（社会生活との関わり）

～実務者会議（連絡会）の様子～

さらに子どもたちの育ち（姿）が、校区のめざす子ども像『自分の思いを伝え、相手の思いに気づき、一緒に活動を楽しむ子ども』にどうつながっているのかについて、『対話』をしていきました。



吉岡幼保小接続アドバイザー

校区の「めざす子ども像」に関わる子どもたちの姿を出し合ってみましょう。

探検で見つけたことを、みんなの前で自分なりの表現で発表していたな。
（言葉による伝え合い）

隣の席の友達と話をしながら、自分の好きな方法でお礼のお手紙を書いていたな。（協同性）

最後に、『対話』から気付いたことを園の先生、小学校1年生担任それぞれが話をしました。

～実務者会議（連絡会）から～

吉岡幼保小接続アドバイザー

児童が今までに様々な経験をしていることが改めて分かったので、もっと子どもの声を聞いていくようにしたいと思います。

今日の児童の姿から、それぞれが明日から生かしていけることを考えてみましょう。

児童が標識を意識できるような提示の仕方が参考になった。園でも標識について触れながら散歩に行こうと思いました。



幼保小接続
リーフレット



中部教育局

1年生が学習している姿を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に照らし合わせながら、園と小学校の先生方が子どもたちの成長を『対話』し共有することが大切です。そして、子どもたちの学びの連続性を図るために、共有からさらに『対話』を深めて、各自が自らの指導方法や指導内容を見直し、改善していくことが重要です。

夏季休業中に、幼保小接続についての研修会や公開保育参観、連絡会等を計画している学校もあると思います。『対話』を通じた幼保小接続の取組の中で、校区のめざす子ども像をもとにして、幼児教育と学校教育それぞれの良さや違いに気付けるように協議を工夫することが大切です。子どもたちの姿をとおして語り合うことで、2学期の指導や支援につなげていきたいと思います。